

科目区分	専門分野Ⅱ			科目番号	0808	曜日時間	通年
授業科目	成人看護学実習Ⅱ						
単位数	2 単位	時間	90 時間	開講時期	3年次	授業形態	臨地実習
担当教員	長谷川 ゆかり ・ 横手 理香 ・ 岡原 幸代						
授業目的	生命に直結する物質のやり取りを障害した対象を理解し、危機的状況に応じた生活を整えていく援助を学ぶ。						
中核	予測と回避						
授業目標	(呼吸機能障害、循環機能障害、消化・吸収機能障害、栄養代謝機能障害) 1. 生命の危機的状態にある対象の特殊性が理解できる。 2. 生命の危機的状態にある対象の思いや、不安を受け止めることができる。 3. 治療や機能障害による問題を予測し、回避するために、情報をアセスメントできる。 4. 急激な身体機能の変化に応じた援助ができる。 5. 苦痛のコントロールができる。 6. 体験を振り返り、生命の危機的状態にある対象ではなぜ予測と回避が必要か明らかにできる。						
授業の内容と方法	日	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
		対象の生活と問題の予測・修正の学習をする ・事前オリエンテーション ・自己の科目目標を決定する ・効果的な自己学習を検討する ・病棟の特徴を理解する	講義 グループ ワーク	(8)	長谷川 ほかり ゆかり	事前学習も含めて問題意識をもつ	
		病棟の一日の流れと病棟の特徴を知る 物質のやり取りが生命に直結することを理解する 生命の危機的状態にある対象を理解する ・全体像を把握する・立体像を把握する ・外科的侵襲を受ける対象を把握する ・救命処置を受ける対象を把握する ・ターミナル期にある対象を理解する 生命の危機的状態にある対象の問題点を抽出する 急激な状態の悪化を予測した援助を理解する 対象の身体的苦痛を回避する援助を行う 対象の精神的苦痛を回避する援助を行う 生命維持にむけた医療チームの連携を理解する 生命の危機的状態にある対象の意思決定を支援する援助を理解する 対象の回復過程に応じた援助を理解する 死生観を深める カンファレンスを通して実習メンバーの受け持ち患者の看護内容について情報交換し理解を深める	臨地実習	90	各担当教員		
終了後課題	受け持ち患者に必要なレポート						
評価計画方法	臨地実習の援助内容・態度を評価表で評価						
テキスト参考図書	既習したすべてのテキスト						
実務歴有	長谷川ゆかり 看護師 : 病院勤務 20年 看護教員 : 学校勤務 1年 横手 理香 看護師 : 病院勤務 26年 看護教員 : 学校勤務 2年 岡原 幸代 看護師・保健師 : 地域包括支援等勤務 6年 看護教員 : 学校勤務 5年						
講義への反映	看護師としての経験を活かし、状況に即した実習を展開する						
備考							